

高岡市民病院第Ⅲ期中期経営計画（公立病院改革プラン） の点検・評価及び公表について

1 概要

- (1) 名称 高岡市民病院第Ⅲ期中期経営計画
- (2) 期間 平成21年度から平成25年度まで（経常収支黒字化の目標年度：平成26年度）
- (3) 策定日 平成21年3月31日

2 事業の実施状況の点検・評価・公表について

本院の経営効率化への取組状況(進捗状況)については、「高岡市民病院経営懇話会」等で意見を求めながら点検・評価し、病院のホームページ等で、より広く市民に公表する。

公表日：平成23年12月15日(木)

3 点検・評価の概要

(1) 経営効率化に係る計画の進捗状況について【主な経営指標は別紙】

① 平成22年度の経営状況について

- ・ 入院、外来患者数も安定的に確保できたほか、22年度診療報酬プラス改定の影響に加え、DPC適用病院として効率的な医療資源の投入、分析にも取り組んだ結果、医業収益が増加。
- ・ 平成21年度から4か年で病院建物改築時に導入した高度医療機器を計画的に更新しており、22年度はMRI装置などを導入。
- ・ 依然として建物等設備投資に伴う減価償却費の負担が大きく、約93百万円の赤字となったものの、経常収支比率などの経営指標は計画値を上回った。

② 今後の取組みについて

- ・ 医師・看護師の確保に加え、多職種からなるチーム医療の重要性の観点から、職員の資質向上支援
- ・ 地域がん診療連携拠点病院としての機能強化
- ・ 患者数の確保に加え、診療報酬加算の着実な取得
- ・ 地域連携の取組みとして、紹介・逆紹介率の向上を図り、地域の開業医等との更なる医療連携の強化
- ・ 費用節減の取組みとして、薬剤・診療材料の適正な在庫管理、省エネ対策の推進
- ・ 職員の経営参画意識を高めるための経営状況の周知、経営セミナーの開催
などこれら施策・事業を推進し更なる経営改善に努める。

(2) 再編・ネットワーク化及び経営形態見直しの状況について

① 再編・ネットワーク化について

富山県は、平成22年度に県全体の取組みとして「富山型医療ネットワーク」の構築を掲げた計画を策定した。この大きな柱は、医師の確保に努めつつ、公立・公的病院、民間医療機関等との機能連携の推進である。本院は高岡医療圏の地域医療を守る中核病院として、この取組みに積極的に参画。

② 経営形態について

平成15年度以降、赤字幅が縮減傾向にあり、当面は現在の経営形態(地方公営企業法一部適用)のなかで経営改善策の着実な実行。